

CANON MEDICAL SYSTEMS

Discovery Book



Canon

キヤノンメディカルシステムズ株式会社

Made For life

Introduction

デジタル技術の進歩により、働き方、暮らし方、生き方が大きく変化してきた中で、医療も高度に発展し、治せる病が増え、人々の寿命も延びてきました。

しかし一方で、新しい課題も山積みになっています。

少子高齢化による一人ひとりの医療費負担の増加、
豊かな食生活、便利な生活の裏で拡大する生活習慣病のリスク。
増大する医療現場の負担や地域医療の担い手不足。

そうした社会課題に対して、
医療と共に歩み成長してきた私たちだからこそ、できることがあります。

高い画像診断技術による、早期発見・早期治療の実現。
AI・ITソリューションを活用したワークフローの改善。
健全な病院経営に向けたトータルソリューションの提案。

100年以上の歴史の中で培われた技術力で、今後も医療の発展に貢献していきます。

日本で、世界で、誰もが健やかな人生を過ごせるように。

患者さんのために、あなたのために、
そして、ともに歩むために。

Made For life

日本の、世界の医療の「今」

少子高齢化が進み2025年までに4人に1人が75歳以上の
超高齢社会になる日本と、世界で広がる医療課題

2025年には後期高齢者人口が2,200万人を越えると予想され、医療ニーズがさらに高まりを見せている日本。高齢化が進めば進むほど、病気やケガのリスクが高まり、治療が長期化するなど、医療現場では様々な問題が起こります。また、世界に目を向けると少子高齢化以外にも多くの課題が浮き彫りになっており、すべての人が質の高い医療を受けることが困難な状況になりつつあります。

医師不足

病床数不足

医療費の
圧迫

医療の
地域格差



キヤノンメディカルシステムズの製品について

より早く正確な検査・診断により、適切な治療を実現し、医療にかかわる様々な課題を解決していく

医療機器には、大きく分けると治療系医療機器、診断系医療機器、その他医療機器の3つの分類があります。「治療系医療機器」は、注射器、メス、心臓ペースメーカーなど治療の際に使用されるもの。「その他医療機器」は、コンタクトレンズやマッサージ機、補聴器など幅広く分類されます。当社は、検査・診断の際に使用される「診断系医療機器」をメインで取り扱っており、“より早く正確な検査・診断”によって、病気の早期発見・早期治療につなげていけるようサポートしています。さらに、バイオサイエンス領域やヘルスケアIT領域にも力を入れており、高度化する医療ニーズへ幅広く対応しています。

画像診断領域



CTシステム



PET-CT



X線循環器診断システム



デジタルX線TVシステム



MRIシステム



超音波診断システム

バイオサイエンス領域



検体検査システム



分子検査ソリューション



迅速検査ソリューション

ヘルスケアIT領域



ヘルスケアITソリューション

※当社取扱製品の一部



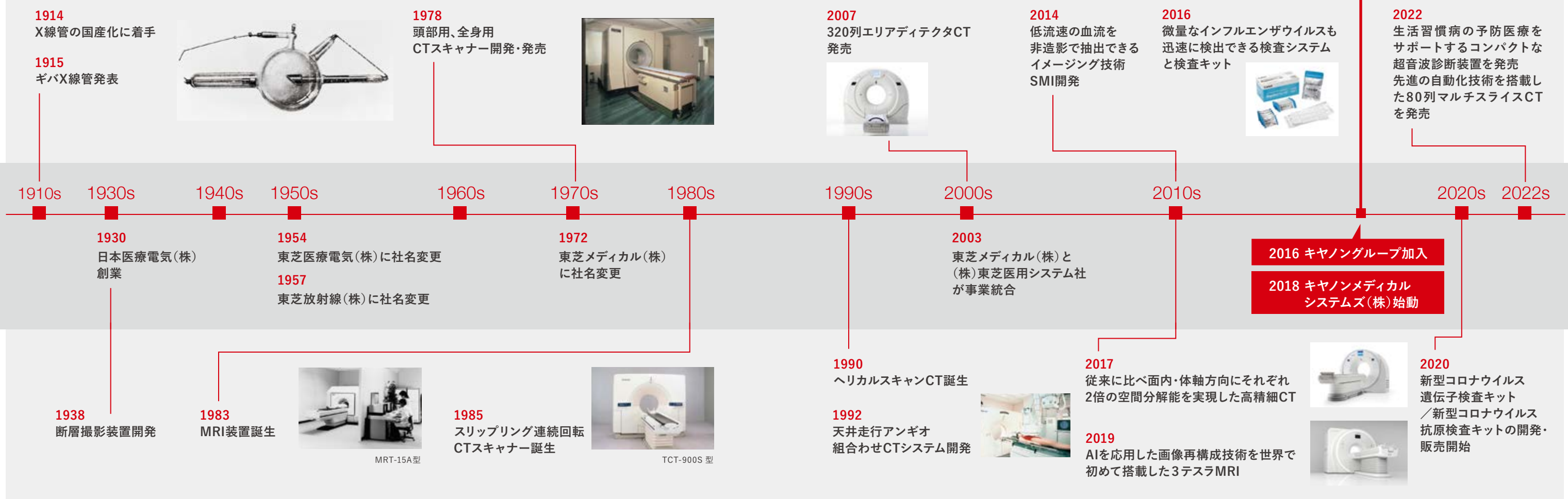
01

キヤノンメディカルシステムズについて

100年以上の歴史を持つ技術力で
キヤノンと医療の未来を支える

私たちは、世界の医療への貢献を願って発展を
続け、長い歴史の中で、様々な製品を生み出して
きました。その技術力をもって、キヤノンの成長
事業であるメディカル事業を牽引し、グループ
と医療の未来を支えています。

キヤノンメディカルシステムズの事業の歴史



※全て自社調べ

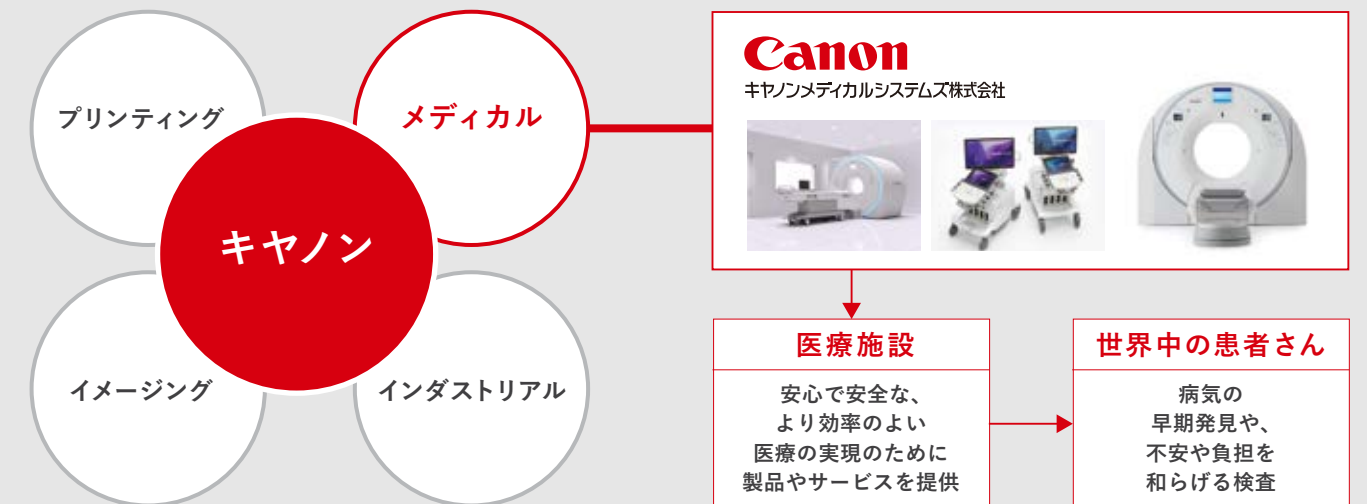
2016年 キヤノングループへ加入

2018年 キヤノンメディカルシステムズ(株)始動

成長領域であるメディカル事業の軸を担う

100年以上の歴史の中で、MRIやCTなど、多数の医療機器を生み出してきた私たち。歴史の中で培われた技術に、キヤノンの持つ画像処理、精密設計・加工といった技術を融合させ、世の中によりよい医療機器を提供するため、2016年にキヤノングループへ加入しました。そして、キヤノンの成長事業として期待されるメディカル事業を強く大きく発展させる存在になるために、2018年にキヤノンメディカルシステムズ(株)へ社名変更し新たに始動しました。当社の製品は画像診断装置分野において国内シェアNo.1、世界でもトップクラスの売上シェアを誇り、日・米・欧・中をはじめ世界中で人々の健康に貢献しています。

キヤノンの4つの産業別グループ

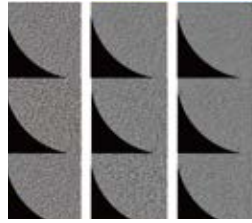


※全て自社調べ

これまでにリリースされた技術

AI技術を用いノイズを低減し、 高精細画像を実現

CT、MRIの設計段階でディープラーニングを用いて、短時間で高精細な画像を提供。医療被ばくの低減、短時間撮像を実現し、患者さんの検査負担を大幅に低減。



医療被ばくの半減を目指し 「AIDR 3D」を“標準搭載”

2011年に「CTの被ばく半減プロジェクト」をスタートし、独自の低線量撮影技術「AIDR 3D」を国内CT総設置台数の約50%に搭載。



※2021年現在

映像を駆使し、不安解消する 「MRシアター」

MRIの寝台頭部のスクリーンに自然の景色などの映像を投影。広い空間映像を見せることで狭い検査空間を感じさせず、閉所に対する不安を軽減。



情報を一元化し、診療の効率化を 支援する医療情報ソリューション

病院内の各システムに散在していた画像や電子カルテなどの診療データを統合・管理。さらに様々な情報を組み合わせて解析し、診療を効率化。



騒音を99%※1カットし、検査 不安を軽減「Pianissimo Zen」

静音化技術「Pianissimo機構」によって、MRIの傾斜磁場コイルを真空中に封入して撮像時の騒音を99%カット。静かな検査で、患者さんの不安を軽減。



※自社調べ。Pianissimo Zenを使用しなかった場合との比較

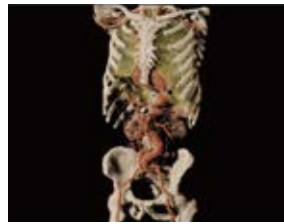
最短3分でインフルエンザを 検査する検査キット

症状に合わせて様々な検体種（鼻かみ液、鼻腔拭い液、鼻腔吸引液、咽頭拭い液）での検査が可能。迅速に結果を得ることで感染拡大防止に寄与。



実像に近い三次元画像を生成 「Global Illumination」

多量の光線を緻密にシミュレートすることで、実像に近い仮想三次元画像を生成。物体の形状、凹凸の把握が必要とされる整形領域に有効性を発揮。



新型コロナウイルス遺伝子検査キット、 抗原検査キットの製品化

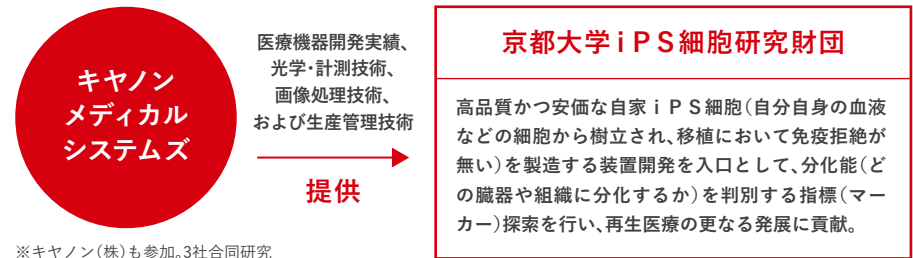
新たな検査機会の創出のため、「新型コロナウイルス迅速遺伝子検査キット」を販売開始。また、「新型コロナウイルス抗原定性検査キット」の販売も開始した。



今後の医療を支える技術

i P S細胞の実現に向けた共同研究

より高品質かつ安価な自家移植用のi P S細胞の実現によって、再生医療分野に貢献していくことを目的とし、2019年8月1日より、山中伸弥教授が理事長を務める京都大学i P S細胞研究財団と共同研究を開始しました。



※キャノン(株)も参加。3社共同研究



再生医療のさらなる発展と普及を支援する

がんゲノム検査事業へ参入

アクトメッド株式会社と資本提携を締結し、2018年7月より、がん患者さんに最適な治療薬を調べるための遺伝子検査サービス「クリニカルシーケンスサービス」を開始しました。



アジア人を熟知したがん遺伝子解析を武器に個別化医療に貢献

02

キャノンメディカルシステムズの技術

医療現場の今と未来を見つめ、最先端を走る

「より迅速な検査・診断」のため、これまでにキャノンメディカルシステムズで開発された様々な技術をご紹介します。これらの技術を育てることで、私たちはさらなる医療現場の課題解決を目指し、成長と発展を続けています。



03

職種の紹介

幅広いフィールドを活かして、
自分がやりたい仕事で成長していく



キャノンメディカルシステムズは、医療機器の開発、製造、販売、技術サービスまでを一貫して提供しています。そのため多くの職種があり、幅広いフィールドの中で一人ひとりの社員が自分らしく活躍しています。自身で希望の職種を選び、自分がやりたい仕事で長期的にキャリアを形成できる環境が整っています。

※詳細はホームページをご覧ください。

事業企画

国内外における、サービス事業を含めた事業全体の事業戦略・マーケティング戦略の企画／立案／調査／分析／推進を担います。その他、欧米企業との業務提携、事業統合活動の推進にも携わります。

サービスサポート

高価であり使用年数が高い医療機器を、性能を保ちながら使っていただくために、点検・修理を行うのがサービスサポートです。また、現場でしか分からないことを開発に伝えるなど、多岐にわたる業務を担います。



研究開発・生産

キャノンメディカルシステムズズの事業の核となる職種。研究開発職は、最先端の技術を駆使して現場の課題解決につながる医療機器を開発・設計し、その成果を生産職が効率的にカタチにしています。

販売・販売支援

すべての製品・サービスの窓口を担います。ハード・ソフトの両面から病院経営に最適なソリューションを提案し、商談時や機器導入後に出てくる医療現場の課題や不明点を、技術面で支え解決します。

04

先輩社員の日

リアルな一日から、
それぞれの職種の仕事を紐解く



Case.01

国内営業／2018年入社

08:30	ミーティング	医療業界は動きが多いため、最新情報の取得は必須。自社製品や他社製品、競合品を学びます。若手のうちは、こうした勉強会が多数あります。
09:00	メールの確認	
10:00	装置勉強会	
11:00	車移動	エコーやレントゲンをメイン商材とし、地区のクリニックを回ります。昼休み前の時間が最も院長先生に会いやすいゴールデンタイムです。
12:00	クリニック訪問	
13:00	昼食	経営層の先生をはじめ、各ご担当者と面会をし、最新技術の紹介、学会の案内、現場調査、搬出入の打ち合わせ、納品などを行います。
14:00	病院・健診施設訪問	
18:00	事務作業	
19:00	退社	

国内営業は、価格、性能、アフターメンテナンスなど、お客様が不安に思うことを解決して受注を目指します。受注後は、装置の搬入・据付を段取りし、期日までに正常に稼働できるように調整。商材の単価は数百万円～数億円までと幅広いですが、自由度高く提案させてもらえますし、困った時は上司や先輩に何でも聞ける環境が嬉しいですね。



Case.03

研究開発(ソフト)／2019年入社

08:30	出社	午後の内部評価に向けて、試作機能の実装を行います。
09:00	試作機能実装	
11:00	設計者との打ち合わせ	営業部とミーティングを行い、お客様からのフィードバックを共有してもらったり、開発中の機能の評価を行ったりします。
12:00	お昼休憩	
13:00	営業部との打ち合わせ	試作機能の自動試験を設定し、明日以降のTo do リストを整理して、区切りのいいところで帰宅します。
15:00	小休憩	
15:00	試作機能実装(続き)	
17:00	退社	

超音波診断装置のソフトウェア開発担当として、ソフトウェアコンポーネントの仕様、設計、実装まで全般を担い、新機能の開発・搭載を行っています。入社する前は「常にコードを書いている」イメージでしたが、仕様、設計、実装のあらゆるシーンで、仲間と「考え、掘り下げる」ことが多く、他部署とのコミュニケーションも重視しています。



Case.02

カスタマーエンジニア／2016年入社

09:00	電話対応	日中は外出が多いため、朝のうちにメールを確認し、返信、提出が必要なものを仕分けたり、スケジュールの確認や調整を行います。
10:00	メールの確認	
10:30	部品の整理	
11:00	本日の作業の準備	私たちが行う点検や修理は、下準備が重要です。定期交換部品や点検報告書などが必要になるため、抜けがないよう準備します。
12:00	お昼休憩	
14:00	点検作業	体と頭の両方を使う仕事なので、お昼のエネルギー補給は一日の中でも大切な時間です。訪問先の近くでおいしいお店を探します。
18:00	終了報告	
18:30	退社	

私たちの仕事は、お客様の装置を常に万全の状態でご使用いただけるよう整備することです。働く前は、淡々と作業するのだと思っていましたが、実際はお客様と会話をし、信頼を深めていくことがとても重要だと感じています。医療機器を整備する役割だけではなく、患者さんの命を救う医療チームの一員という心構えを持つようにしています。



Case.04

海外営業／2015年入社

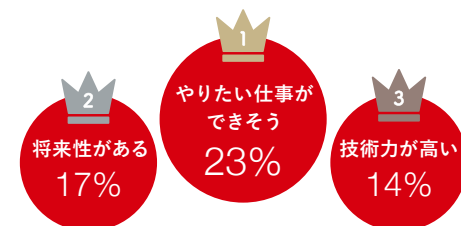
09:00	メールチェック	販促イベントや新製品リリース計画について関係部署と議論。各国特有の事情を理解し、市場に合う戦略を立てます。
10:00	関係部署とのミーティング	
11:30	お昼休憩	メニューが充実し、広くてきれいな川崎事業所の社員食堂でランチ。たまに出てくる季節のデザートがお気に入りです。
12:30	見積もり作成、受発注業務	
14:00	現地法人とのミーティング	シンガポールの現地法人との月例ミーティング。売上速報や商談状況について情報共有し、次のアクションを議論します。
16:00	資料作成	
18:00	退社	

海外営業本部は、各国での営業活動を行う現地法人や代理店を支えることが主な仕事です。日本から市場分析やマーケティング、商談支援、販促イベントの立案・実行などのサポートを行っています。海外出張は年に数回程度ですが、若手のうちから1国でのビジネスを任せられるのが魅力です。

Column

希望に合った職種が選べる環境

医療機器の開発・製造・販売・技術サービスまでを一貫して担うキャノンメディカルシステムズでは、多様な職種があり、各職種のスペシャリストたちが協力しながらお客様に最適なソリューションを提供しています。文系・理系問わず誰もが活躍できるフィールドを幅広くご用意しています。実際に当社の内定者からも、「やりたい仕事ができそう」という点が入社の決め手になったという声を多く聞きますね。「医療の知識がないのですが、大丈夫ですか?」という質問もよくいただきますが、専門的な知識などについては、入社後手厚い研修があります。



※2021年卒マイナビ調べ

海外への展開

製品・サービスの展開

190以上の
国・地域



海外売上比率

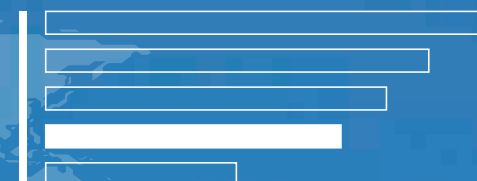
72%



世界シェアランク

画像診断機器
主要モダリティ

4位



グローバル体制

連結子会社

21社



代理店

90社



従業員数（連結）

11,538名

海外

5,431名



国内

6,107名

※2023年12月末時点

05

グローバル展開

日本だけではなく、
世界を相手に活躍できる

世界190以上の国や地域に製品・サービスを展開するキャノンメディカルシステムズ。グローバルな販売・サービスネットワークの活用や医療先進国との共同研究開発など、活躍できるフィールドは世界中に広がっています。

※全て自社調べ

06

教育研修について

理想を叶えてもらうため、
個人の成長に特化した研修制度

社会にどのように貢献し、どんなキャリアを積んでいきたいか。キャノンメディカルシステムズでは、そうした社員一人ひとりの想いを大切に、成長を支えるために、様々な研修制度を用意しています。

役職別に様々な教育制度を用意

新入社員から役員まで、それぞれのキャリアステップに沿った学びを行うため、役職ごとに階層別教育を実施しています。その他にも、グローバル教育や職種別教育、自己啓発なども行っています。

自己啓発

- ・語学（英語・中国語・日本語）
- ・手話
- ・通信教育
- etc.

新入社員	中堅	主任級	経営幹部候補	役員
導入研修	リーダー研修 （基本）	リーダー研修 （実践）	新任部長・課長研修	役員研修
フォロー研修	メンター研修	役職候補者研修	幹部候補者研修	経営者候補研修

社会人としての基礎を固める新入社員導入研修

ビジネスマナーやビジネスにおける心構えは、お客様と信頼を築いていく上で欠かせないスキルです。そうした、社会人としての基礎固めをはじめとし、当社や当社製品に関する基本的な知識を身に付けるための導入研修を行っています。



各職種ごとに最適化された職種別の研修制度

※下記は一例です

営業職

「循環器基礎研究（実践研修）」や「医療系大学への実習」で現場を知り、「世界的な放射線学会」に参加して世界の市場を知るなど、あらゆるニーズに応えられる営業力を身に付けます。

研究開発職

スキルを高め、現場目線で研究開発する力を習得するため、「医療系大学への実習」をはじめとして、実際の医療現場を肌で感じられる様々な実習を用意しています。

生産職

生産職の仕事は、研究開発の成果をどのようにカタチにしていけるかを考えることです。そのために必要となる知識に加え、部品調達に必要なフローなどを実践的な研修を通して学びます。

サービスサポート職

現場で点検や修理などを行うための技能アップにつながる研修を用意しています。実際の現場で起きやすいトラブルや、それを未然に防ぐための方法や技術などを学んでいきます。

研修の一例



タブレットを用いた 営業支援ツール「Catch!」

タブレット端末に、様々な製品の最新トピックやアピールポイントを画像・動画で簡潔にまとめており、より直感的な製品理解を手助けします。



経営者の視点で営業活動を見直す 複眼的営業スキル研修

全体最適の観点から利益を高めるために「経営シミュレーションゲーム」で経験学習を行い、自らの営業活動で何をすべきか、経営視点で見直します。



大学病院で3ヵ月間の実習を行う 医療系大学への実習

アプリケーションスペシャリストの社員を対象に、大学病院で技師として3ヵ月間実習するプログラム。医療従事者・患者さんの立場の目線を養います。



新人技術者を長期的に育成する ワークアサインメント制度

入社からの3年間の実業務を通して行う計画的な長期育成プログラム。組織的な育成計画を立案し、メンターとともに希望するキャリアを実現します。



世界の現場でアピールする 世界的な放射線学会への参加

毎年アメリカで開催される世界的な放射線学会へ、選抜された営業メンバーが参加。自社商品のアピールに加え、世界の動向も知ることができます。



営業時の対応力を上げる 循環器基礎研修

「生の話を聴く」「生の現場を見る」「生の装置を見る」をテーマとし、実際の現場を体感することで営業時の対応力を上げていきます。




海外に出向きスキルアップを図る海外実務研修

キャノンメディカルシステムズの海外現地法人・販売会社に海外営業職の社員を派遣。実際に現地に身を置くことで、現地営業活動の把握、現地の各業種のオペレーションの理解促進、異文化コミュニケーション能力を向上させ、海外営業のスキルアップを図り、エキスパートを目指します。

対象者	研修先	プログラム
5-10年目程度のグローバルに活躍が期待される選抜された社員	ブラジル・オランダ・オーストラリア・UAE・メキシコ・インド・タイ・カナダ など	当社の海外現地法人・販売会社において、主に営業活動に関する実務研修、語学研修(非英語圏の場合)など

※現状は、海外営業職の社員のみが対象となります。



カスタマーエンジニア職へのフォロー体制

カスタマーエンジニア職はお客様へお届けした装置を最良の状態与安全にお使いいただくために、高度な技術的知識を必要とする職種です。ただし、先輩社員の皆さんが最初からそのような知識を持っていたわけではありません。医療機器の基礎知識を学べる座学から、配属後のOJT教育、入社後のフォロー研修など、多岐にわたる研修をご用意しています。社員が安心して業務に取り組み、一人前のカスタマーエンジニアに成長できるようしっかりとサポートします。

POINT 01

3ヵ月以上の長期新人研修

POINT 02

配属後の教育

POINT 03

入社1年後、3年後、5年後のフォロー研修

07

働く環境について

働きやすい環境を整え、 一人ひとりの人生に寄りそう



自分のため、子育てのため、家族のため。どんなライフステージを経たとしても、安心して長く働いてほしい。そうした願いを込め、一人ひとりが、今以上に豊かな生活で充実した人生を送れるように、キャノンメディカルシステムズでは働きやすい環境づくりに力を入れています。

年間休日

年間休日は125日です(2023年実績)。週休2日制で、GW・夏期・年末年始などの長期連休があります。

その他の制度

・慶弔休暇 ・健康支援室 ・健康保険 ・雇用保険 ・労災保険 ・厚生年金保険 ・年次有給休暇

フリーパカンス休暇

年次有給休暇から、1年間の中で連続した5日間の休暇を設定する制度です。



自分のため

借上社宅制度

転勤などの理由で社宅の提供が必要な方に適用されます。

キャノングループ団体保険

スケールメリットを活かした各種保険(生保／損保／医療／自動車)などに割安で加入することができます。

その他の制度

・財形貯蓄 ・持株会 ・企業年金 ・確定拠出年金

社員の声

初めて一人暮らしをしたので、不安もありましたが、会社が物件の紹介や費用面でもサポートしてくれたので助かりました。

子育てのため

くるみんマーク取得

次世代育成支援対策推進法に基づく「子育てサポート企業」として、厚生労働省栃木労働局長より「くるみんマーク」を2007年から継続取得しています。

その他の制度

・産前産後休業 ・育児短時間勤務 ・配偶者出産休暇 ・育児休暇 ・出生時育児休暇

社員の声

産前産後休業や育児休暇など、法定よりも期間が長いですし、分割できる回数も多いので、自分の生活に合わせて取得することができました。その他の福利厚生や各種制度・手当も充実していて、子育て世代にとっては非常に働きやすい環境だと思います。

家族のため



短時間勤務制度

介護、育児、重大疾病の治療などの目的で、1日あたり最大2時間短縮可能です。

その他の制度

・介護休暇 ・介護休職

保養所

箱根、熱海、湯布院に保養所があり、キャノングループ社員とその家族が利用できます。

キヤノンメディカルシステムズのCSRの取り組み

私たちは、社会の変化がもたらす“課題の解決”や“価値の提供”を行うことこそが、企業と社会を持続的かつ相乗的に発展させると考えています。キヤノンメディカルシステムズグループはそうした考え方を根底にして、現代社会から求められている、“サステナビリティ要素”を融合させた、製品・サービス、ソリューションの提供を目指しながら、新しい価値を創造するCSR活動を展開しています。

キヤノンメディカルシステムズの5つの重要課題とSDGs

01 新たな価値創造、医療課題の解決

患者さんの負担軽減と高精細画像を両立させる技術開発を通じて、医療課題の解決に貢献します。



02 社会との共生・地域への貢献

ステークホルダーの皆様からのご意見やご要望を積極的に取り入れ、社会の持続的発展と企業価値の向上につなげています。



03 多様な人材の活躍と成長

多様な背景や価値観を持つ社員一人ひとりの個性を尊重し、安心してやりがいを持って働ける職場環境づくりに取り組んでいます。



04 強固で健全な組織づくり

キャノングループ及び当社グループの行動指針に基づき、健全で透明性の高い経営体制を構築しています。



05 地球環境の保護・保全

キャノングループ環境憲章ならびに当社グループの行動基準に基づき、環境活動を技術的・経済的に可能な範囲で推進します。



CSR活動基本方針

1. “命の尊さ”を基本に社会の一員として、社会に対して積極的に貢献していくことで社会からの信頼を獲得し、持続的成長を目指します。
2. 生命・安全、法令遵守を最優先に、誠実で透明な経営を実践するとともに、地球環境に配慮した企業を目指します。
3. 信頼される企業を目指し、お客様や従業員、株主、地域社会等、さまざまなステークホルダーの皆様とコミュニケーションを図ります。

重要課題への具体的な取り組み事例



小児がん患児の体験見学会(日本)

検査への不安や疑問を解消したいと考え、小児がんの子どもたちとご家族を本社へ招待し、CTやMRIなどの検査装置におもちゃのように触れて楽しんでいただく「体験見学会」を開催しています。



多様性の尊重

国内外で外国人採用に積極的に取り組み、採用後の教育制度を含め、多様な人材が活躍できる環境づくりを促進。また、当社グループ全体で障がい者雇用も促進しています。(法定雇用率2.3%以上の維持継続)



環境配慮型製品づくりの推進

製品自体の省エネ・省資源・省スペース・有害化学物質削減・リサイクル性改善・梱包材削減・リサイクル材の活用、他、検査業務の生産性を改善するエコデザインに取り組み、地球環境へ貢献しています。

Message

Made For life

患者さんのために、あなたのために、そして、ともに歩むために。

人々の健やかな生活の実現のために、「いのち」と向き合う。

「Made for Life」はキヤノンメディカルシステムズの経営理念を象徴するスローガンです。

「病気の早期発見や適切な治療につながる最先端の技術を開発する」

「検査に対する不安や負担を少しでも和らげる方法を考える」

「チーム医療を支える医療情報システムをサポートする」...

それぞれの職種のすべての社員が、

企業スローガン“Made for Life”の実現にむけて積極的に取り組んでいます。

私たちは医療に携わる方々とともに、

未来の医療現場を支えていきたいと考えています。

そして、私たちの仕事が、医療に携わる方や多くの患者さんの笑顔につながることを願っています。

キヤノンメディカルシステムズで活躍している人物像

高性能な医療機器を開発・製造することが私たちのゴールではありません。患者さんの負担をいかに減らし、医療従事者の方をいかにサポートできるか。「医療の発展を支え続けること」が使命です。その使命を果たすため、これからの未来を歩みたいと考えています。

医療を通じた社会貢献を
実現したい人

情熱を持って
やりとげることができる人

グローバルに
活躍したい人



キヤノンメディカルシステムズ株式会社

会社概要

商号	キヤノンメディカルシステムズ株式会社 (CANON MEDICAL SYSTEMS CORPORATION)
創業	1930年 (昭和5年10月)
設立	1948年 (昭和23年9月)
代表取締役社長	瀧口 登志夫
本社	栃木県大田原市下石上1385番地 Tel : 0287-26-6211
資本金	207億円
業務内容	医療用機器 (X線診断システム、CTシステム、MRIシステム、超音波診断システム、放射線治療装置、核医学診断システム、検体検査システム、ヘルスケアITソリューション など) の開発、製造、販売、技術サービス

コーポレートサイトはこちら

<https://jp.medical.canon>



高専生向けサイトはこちら

